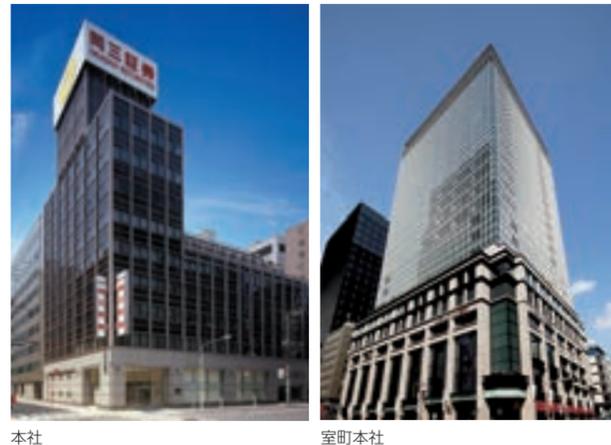


■ 会社概要 (平成29年11月17日現在)

商号 株式会社岡三証券グループ  
(OKASAN SECURITIES GROUP INC.)  
所在地 東京都中央区日本橋一丁目17番6号  
創業 大正12年4月4日  
設立 昭和19年8月25日  
資本金 18,589,682,639円  
従業員数 3,657名 (第80期第2四半期連結ベース)  
上場金融商品取引所 東京・名古屋証券取引所



本社

室町本社

■ 株式の状況 (平成29年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 750,000,000株  
発行済株式の総数 208,214,969株  
株主数 21,517名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	9,732	4.87
農林中央金庫	9,700	4.85
三井住友信託銀行株式会社	8,726	4.37
大同生命保険株式会社	8,660	4.33
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,822	2.91
有限会社藤精	5,266	2.63
株式会社りそな銀行	4,937	2.47
株式会社みずほ銀行	4,925	2.46
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者資産管理 サービス信託銀行株式会社	4,924	2.46
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,848	2.43

※ 当社は、自己株式8,329,701株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



株価および出来高の推移(東証・月間)



■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月中に開催  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 1,000株  
公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載) <http://www.okasan.jp>  
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031 (平日9:00~17:00/土・日・休日を除く)

(URL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主さまは、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、株主さまの口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社の口座をご利用されていない(特別口座に株式のある)株主さまは、左記電話照会先までご連絡ください。

配当金のお受取り方法について

配当金のお受取り方法につきましては、便利な指定口座への口座振込による方法のほか、証券会社のお取引口座において株式数に応じてお受取りいただく方法、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口でお受取りいただく方法がご利用いただけます。

お手続きにつきましては、株主さまの口座のある証券会社または三井住友信託銀行(特別口座に株式のある株主さま)へお問い合わせください。

# 株主のみなさまへ

第80期中間のご報告 (平成29年4月1日~平成29年9月30日)

株式会社 岡三証券グループ

■ ごあいさつ

株主のみなさまには、ご清栄のこととお慶び申し上げます。第80期中間のご報告をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。このところ、世界的に政治不安や地政学リスクが懸念される一方で、わが国企業の利益総額や株式時価総額がバブル期の水準を超えてきております。このような状況のなか、当社では様々な変化に迅速に対応できる経営体制を確立するため、グループ各社が営業基盤の拡大やテクノロジーへの対応に取り組んでおります。

まず、グループの中核企業である岡三証券では、地域に密着した投資コンサルティング拠点の拡充を推進すると同時に、様々な世代のお客さまのご要望にお応えするサービスを充実させるため、愛知県長久手市に店舗を開設いたしました。また、岡三オンライン証券ではAIを用いた投資情報ツールの充実をより加速させ、岡三アセットマネジメントでは積み立て投資に適した投資信託を新たに組成するなど、資産形成層のお客さまにもお応えできるサービスの提供に努めております。加えて、岡三にいがた証券、岡三アセットマネジメント、岡三情報システムの3社においては、今年6月に経営体制を一新し、新しい課題に対する取り組みの一層の強化を図っております。

今後とも、当社グループでは、創業以来培ってきた「お客さま大事」の経営哲学を守りながら、グループの総合力を活かし、持続的に成長できる企業体制の構築に努めることで、新しい時代にふさわしいお客さまサービスを創造してまいります。

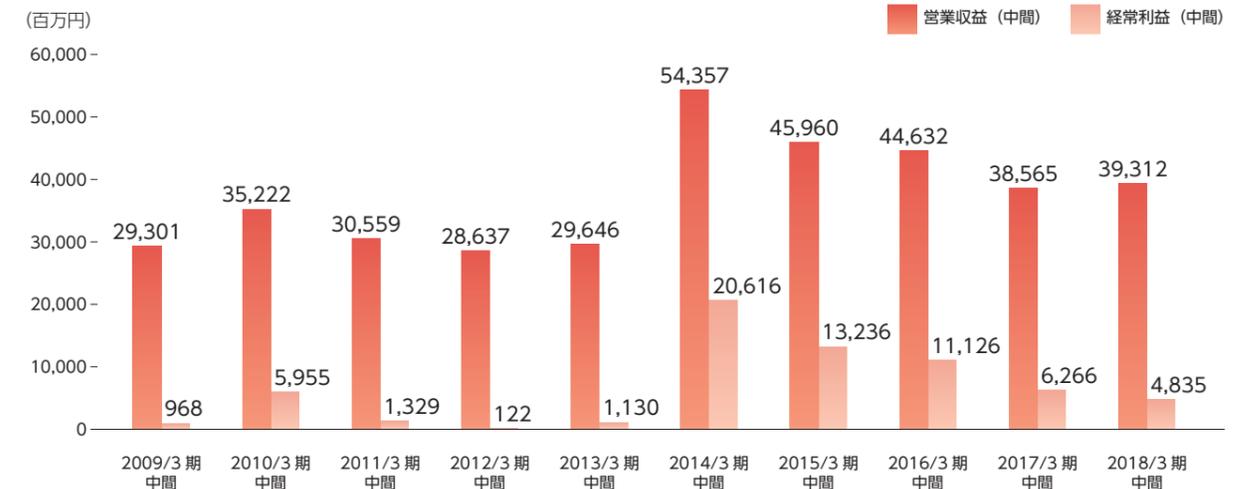
株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



取締役社長 新芝宏之

平成29年11月

■ 業績ハイライト (連結)



# 四半期連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

科 目	(単位：百万円)	
	前年度第2四半期 (平成28年9月30日)	当年度第2四半期 (平成29年9月30日)
<資産の部>		
<b>流動資産</b>	<b>394,102</b>	<b>537,467</b>
現金・預金	57,070	63,130
預託金	61,891	74,313
トレーディング商品	114,302	189,480
約定見返勘定	—	4,243
信用取引資産	35,062	43,605
有価証券担保貸付金	114,661	152,527
その他の流動資産	11,114	10,166
<b>固定資産</b>	<b>78,727</b>	<b>79,777</b>
有形固定資産	19,291	19,093
無形固定資産	10,351	8,087
投資その他の資産	49,085	52,596
<b>資産合計</b>	<b>472,830</b>	<b>617,244</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	(単位：百万円)	
	前年度第2四半期 (平成28年9月30日)	当年度第2四半期 (平成29年9月30日)
<負債の部>		
<b>流動負債</b>	<b>273,015</b>	<b>409,002</b>
トレーディング商品	94,484	124,677
約定見返勘定	13,863	—
信用取引負債	11,953	15,249
有価証券担保借入金	—	79,872
預り金	34,516	49,564
受入保証金	32,842	36,521
短期借入金	76,566	95,158
その他の流動負債	8,788	7,958
<b>固定負債</b>	<b>27,445</b>	<b>30,943</b>
特別法上の準備金	1,329	1,161
<b>負債合計</b>	<b>301,790</b>	<b>441,107</b>
<純資産の部>		
<b>株主資本</b>	<b>134,693</b>	<b>139,993</b>
資本金	18,589	18,589
資本剰余金	13,157	16,420
利益剰余金	106,583	108,728
自己株式	△ 3,637	△ 3,745
その他の包括利益累計額	10,153	13,439
新株予約権	161	235
非支配株主持分	26,032	22,468
<b>純資産合計</b>	<b>171,040</b>	<b>176,137</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>472,830</b>	<b>617,244</b>

## 四半期連結損益計算書

科 目	(単位：百万円)	
	前年度第2四半期累計 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当年度第2四半期累計 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業収益</b>	<b>38,565</b>	<b>39,312</b>
① 受入手数料	21,959	24,859
② トレーディング損益	15,494	13,167
金融収益	720	871
その他の営業収益	391	414
<b>金融費用</b>	<b>554</b>	<b>572</b>
<b>純営業収益</b>	<b>38,011</b>	<b>38,739</b>
③ 販売費・一般管理費	32,393	34,274
<b>営業利益</b>	<b>5,617</b>	<b>4,464</b>
営業外収益	737	651
営業外費用	87	280
<b>経常利益</b>	<b>6,266</b>	<b>4,835</b>
④ 特別利益	1,624	3,343
④ 特別損失	174	4,864
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>7,716</b>	<b>3,314</b>
法人税、住民税及び事業税	2,246	2,310
法人税等調整額	△ 72	△ 924
<b>法人税等合計</b>	<b>2,174</b>	<b>1,386</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>5,542</b>	<b>1,928</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	754	572
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,788	1,356

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当第2四半期連結累計期間における営業収益は、前年同期比1.9%増の393億12百万円となりました。

### ①受入手数料

投資信託関連収益や株式委託手数料の増加により、受入手数料は前年同期比13.2%増の248億59百万円となりました。

### ②トレーディング損益

債券等トレーディング損益や外国株式トレーディング損益の減少により、トレーディング損益は前年同期比15.0%減の131億67百万円となりました。

### ③販売費・一般管理費

人件費や事務費等の増加により、販売費・一般管理費は前年同期比5.8%増の342億74百万円となりました。

### ④特別利益および特別損失

投資有価証券売却益の計上等により、特別利益は33億43百万円となりました。また、減損損失の計上等により、特別損失は48億64百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経常利益は前年同期比22.8%減の48億35百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同71.7%減の13億56百万円となりました。

# OKASAN TOPICS

## 岡 三 ト ピ ッ ク ス

### 岡三証券グループ

#### 「日経IR・投資フェア2017」に出展

岡三証券グループは、2017年8月に東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された個人投資家向けイベント「日経IR・投資フェア2017」に金融協賛社として出展しました。

3度目の出展となった今回も、多くの方が当社ブースへ立ち寄り、岡三証券、岡三オンライン証券、岡三アセットマネジメントの3社による投資セミナーはいずれも大勢の立ち見が出る盛況となりました。また、ブース内では岡三証券による投資相談や、岡三オンライン証券の取引ツールデモを行い、当社グループのサービスを幅広い方に知っていただく機会となりました。



### 岡三証券

#### 「長久手支店」を開業

岡三証券は2017年5月、新店舗「長久手支店」(愛知県長久手市)を開業しました。

長久手市は名古屋のベッドタウンとして発展を続けている地域で、住民の年齢層が若く人口も増加しています。同支店では、住宅地に立地するフルサービス店舗として、地域の皆さまのニーズにお応えし、地域コミュニティーの一部となるべく、総合的な金融サービスの提供に努めてまいります。今後のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



### 岡三オンライン証券

#### AI投資ツールを拡充

岡三オンライン証券は、AI(人工知能)を活用した投資ツールを拡充しています。

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)情報をAIで解析し投資情報としてご提供する「#カブトレンド」のサービスを2017年6月に開始したほか、ウェブ画面上で質問にお答えいただくだけで最適な投資信託や参考ポートフォリオをご提案する「投信ロボ」のご提供を同7月から開始しています。



### 岡三アセットマネジメント

#### 「R&Iファンド大賞2017」優秀ファンド賞を受賞

岡三アセットマネジメントでは、2017年4月、「R&Iファンド大賞2017」において、同社が運用するファンド「日本リリートオープン(毎月分配型)」が投資信託/国内REIT部門の優秀ファンド賞を受賞しました。同ファンドの受賞は2年連続となりました。

また、同社では2017年10月に運用力強化のための機構改革を実施し、新体制のもと運用成績の向上とお客さま満足度の向上に努めております。

※ファンド大賞の詳細は、格付投資情報センター(R&I)のWebサイト([https://www.r-i.co.jp/investment/fund\\_award/](https://www.r-i.co.jp/investment/fund_award/))をご覧ください。

